

地域の個性や魅力を 活かす整備事業は

輝(かがやき)

宮小路 康文



問
(議員)

阪急長岡天神駅周辺市街地西地区整備事業について、7月に開催された地権者検討会臨時総会で西地区整備計画を基に事業化に向けた具体的な検討を進めることが決定された。整備にあたっては、高度化、集約化、採算性の追求だけでなく、長岡京らしさや観光客を取り込む視点を強く意識するべきと考えるが、地域の個性や魅力を活かす工夫についてどのように考えているか。

答
(市側)

西地区整備計画においても、長岡天神らしい市民や来訪者も含めた多種多様な人々が往来する動線や、長岡天神でしかできない独自の体験や地元連携による新たなまちのブランディングなどが記載されている。今後、事業実施計画が策定される中で、準備組合や市民、関係団体、学識経験者で構成される第三者委員会で議論を深める中で、さらに具体化を図っていただきたいと考える。

その他の
一般質問

阪急長岡天神駅東暫定ロータリーについて／
新犬川環境整備について



一
般

質

問

9月定例会では、17名の議員が行政全般について、市長などの執行機関に対し、さまざまな角度から質問しました。
ここでは、その質問の一部を掲載します。

総合交流センターの 再編について

平成西山クラブ

上村 真造



問
(議員)

総合交流センターは、開設以来市民に親しまれ、今年度20周年を迎える。交通アクセスや駐車場も充実しており、親子が遊び交流できる場所として好条件を備えている。市民ニーズに応え児童室をさらに充実させ、センターの機能も社会情勢の変化やニーズの多様化、各施設の課題に対応させるため、全体の見直しが必要と考えるが見解はどうか。

答
(市側)

総合交流センターは好条件の立地であり、1階にスペースを確保することで児童室の拡充を図り、親子で遊べる場づくりに取り組んでいきたい。そのためには、総合交流センター全体の機能の再配置が必要となる。新庁舎への機能集約によるスペースの活用や、センター内での移転、検討中の文化ゾーンの再整備など、公共施設全体の再編計画と併せて配置を行っていく。今年度に改定を予定している公共施設再編整備構想の中で示していきたい。

その他の
一般質問

公共施設におけるデジタル化に関して／本市のDX推進に関して

郵便等投票利用に おける費用は

日本共産党

広垣 栄治

投票にも
バリアフリーを



問
(議員)

郵便等投票は、自宅で投票ができる制度である。歩行困難と重度障がいのある人や、要介護5の人が対象であり、あらかじめ郵便投票証明書の交付を受ける必要がある。市選挙管理委員会と何らかの封書でのやりとりをするようになるが、郵送料についての規定がないために各自治体によって対応が異なる。制度利用に係る費用は、自己負担がないことが望ましいと考えるが市の見解はどうか。

答
(市側)

郵便等投票制度において、選挙権の行使に当たる投票用紙の送付に係る郵送料は市で負担をしている。請求手続に係る郵送料は有権者が負担しているが、自治体負担とすることについて実情に応じて判断できるとの説明もあり、費用負担の在り方については市選挙管理委員会で議論をいただこう働きかけていきたい。

その他の
一般質問

猛暑での子どもの遊び場の確保について／地域農業を守る施策を

被害竹林への 更なる支援は

平成同志クラブ
三木 常照



問（議員） 昨年に続き、今年も竹林において病害虫が発生している。その対策として、6月議会では、病害虫防除対策事業補助金が補正予算で計上された。行政と生産農家が一丸となって、本市の特産物であるタケノコを今後も継続して栽培していこうとしている姿勢は評価するが、被害を受けている竹林所有者へ市はさらなる支援の拡充を検討しているのか。

答（市側） シナチクノメイガは、生態も含め不明な点が多く、有効な対策を講じることが困難であるがまずは農業者等へ被害の実態を把握するためアンケート調査を実施したい。また、広域的な対策が必要となるため、早期の防除対策の確立に向けて取り組みを進めてもらうよう京都府へ強く働きかけていく。さらに、今夏の被害の急拡大を受け、国、府を含めた協議会のような情報共有、対策検討の場の設置を働きかけるよう緊急要望を行う。

その他の
一般質問

阪急長岡天神駅西地区市街地整備事業に関して／地域集会所（自治会館）の整備に係る補助金に関して

公園における 花火の使用は

長岡京未来の会
小谷 宗太郎



問（議員） 長岡京市都市公園条例の第3条第7号では、たき火をし、又は火気をもてあそぶことを禁止しているが、この規定は花火の使用に対するものか。また、水道施設のある一定以上の広さの公園で近隣へ迷惑にならない手持ち花火は使用できるなど、ルールを設けて許可することはできないか。

答（市側） 長岡京市都市公園条例の第3条で、他の利用者へ危険を及ぼすおそれがある行為や不快の念を与えるおそれがある行為を禁止している。また、公園内での花火の使用は、水道施設の有無に関係なく原則御遠慮いただいている。ただし、自治会の祭りなど、公園行為許可申請により管理監督体制や消火対策などが確認できた場合は、許可する事例もある。今後は、他市の事例も研究し、利用者や地域住民との合意形成を図りながら、安全に手持ち花火ができるルールや仕組みづくりについて検討したい。

その他の
一般質問

市内の文化財について

一般質問に一问一答方式を試行導入しました！

9月定例会から一般質問の方法に一问一答方式を試行導入しました！

これにより、議員は一般質問を行う際、これまでの方式（一括質問・一括答弁方式）か一问一答方式かを選んで質問できるようになります。

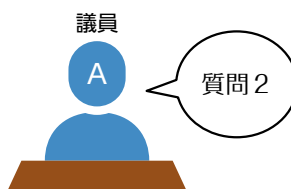
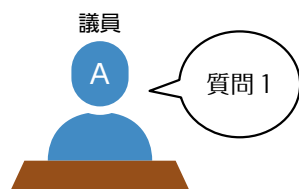
一般質問の様子は録画映像でご覧いただけます！また、12月定例会も引き続き一问一答方式を試行しますので、ぜひご覧ください！

一括質問・一括答弁方式



※答弁の順番は前後することがあります。

一问一答方式



電子商品券事業の 成果は

平成自民クラブ
中小路 貴司



問
(議員)

長岡京市中小企業振興基本条例が施行され、間もなく3年を迎える。さまざまな事業展開が行われる中、電子商品券事業であるガラシヤPayは、地域経済の活性化や急激な物価高騰下での消費者支援にとどまらず、今後事業運営上不可欠と言われる事業者のデジタル化を後押しする目的もあると聞く。これまでに4回実施されたガラシヤPayについて、市はどのように評価をしているのか。

答
(市側)

ガラシヤPayは、消費喚起効果だけでなく、事業者のデジタル化を促進するものであり、事務手続きの負担軽減、利用状況のデータの蓄積など、今後の事業展開を考える際の資料として活用できるなどの利点がある。ガラシヤPayを核として事業者を含めた各関係団体が主体的に議論し、地域経済の発展に向けて取り組むことが、条例の理念を体现する上で最大の成果だと考えている。

その他の
一般質問

地域と学校の連携・協働による教育の推進に関して

スポーツに親しむ 公園整備は

平成同志クラブ
田村 直義



問
(議員)

第2期長岡京市スポーツ推進計画では、スポーツで人や地域をつなげることを目指して、スポーツを行うために必要な場所や環境整備に取り組んでいる。既存の公園や緑地、新規に公園を整備する際に、公園の規模や施設の配置状況などの課題はあるが、ストリートバスケットができるハーフコートを整備することは可能か。また、スポーツができる公園整備について市はどのように考えているか。

答
(市側)

公園施設の整備にあたっては、多様な利用者が想定されるため、公園の大きさや立地条件、利用形態などを考慮した上で、特定の運動施設を公園内に設置できるかなど、さまざまな検討が必要となる。バスケットボールができるハーフコートの環境整備は、他市の事例を研究し、公園利用者全体のニーズの中で、他のスポーツも含めてさまざまな方の意見を聞きながら検討していきたい。

その他の
一般質問

公共交通に関して

ヤングケアラー支援の 今後の展望は

長岡京黎明の会
中村 亮太



問
(議員)

現在、策定中の長岡京市第4次総合計画第3期基本計画では、子どもにおける産み育てる環境の分野において、子育てにおける安全の確保の施策が位置づけられており、その主な取り組みの一つにヤングケアラー支援に取り組むとの記載がある。目標を実現していくためにも、ヤングケアラーを早期に発見し、支援につなげる体制の整備が重要であると考えますが、本市の今後の展望はどうか。

答
(市側)

本年4月に児童福祉と母子保健を一体的に提供することも家庭センターを設置し、ヤングケアラーを含めた支援の窓口を一元化した。また、身近にいる大人がヤングケアラーではないかと気づくことが重要であると考えており、ヤングケアラーのケースに関わる人が多い要保護児童対策地域協議会の構成メンバーを対象とした研修を企画し、早期発見につながる体制づくりを進める。

その他の
一般質問

市役所北西交差点に おける安全対策は

公明党
福島 和人



問
(議員)

現在設計中の市役所北側の市道第4016号線の犬川暗渠化工事では道路の拡幅と歩道の設置が予定されているが、道路拡幅により、市役所北西側交差点の車両通行の軌跡などに変更が生じることから、利用者の安全確保が必要と考える。この交差点について、公安委員会との道路協議を実施したと聞かすが、どのような内容か。また、交差点の安全対策について市はどのように考えているか。

答
(市側)

公安委員会との道路協議において、今後、市役所第2駐車場が公用車専用駐車場となるのであれば、出入口を出口専用とする一方通行での利用を提案いただいた。危険な五差路が解消され、歩行者や自転車も安全に交差点を通行できることから、その案を採用した。一方通行化は、市役所グランドオーブン時より実施予定であり、誘導表示などを行い、誤進入が起らないよう防止対策などに努める。

その他の
一般質問

長岡公園の 受動喫煙対策は

長岡京未来の会
川口 良江



問（議員） 本市では、公園内の喫煙について、人が密集しやすいバニオ広場公園や西山公園のジャブジャブ池など、禁煙にしている公園施設は一部あるが、公園は屋外施設のため、喫煙する場合は、周囲の状況に配慮し、基本的に喫煙可能としている。9月6日に全面リニューアルオープンした長岡公園においては、受動喫煙にならないための取り組みやルールなどを設ける予定はあるのか。

答（市側） 長岡公園では、これまで喫煙可能としていたが、リニューアルオープンに伴い、多様な方々が利用されることが想定されるため、受動喫煙の可能性が高まると考えている。新たな取り組みとして、指定管理者と協議のうえ、9月の供用開始日より全面禁煙としている。また、指定管理者の日常的な巡回の中で禁煙の呼びかけを行い、適切な管理運営を進めていく。

その他の
一般質問

プレコンセプションケアについて／本市の子育て支援について

終活情報登録・ 伝達事業について

公明党
石井 啓子



問（議員） 近年、高齢化が進み、医療や介護、葬儀、相続など人生の最終段階に関する意思や情報を事前に整理して伝える仕組みが求められている。終活に関する情報を登録し、必要時に家族や関係機関へ安全に伝達する終活情報登録・伝達事業を行う自治体が全国的に増えており、規模や方式の異なる成功事例があると聞く。本市では、終活情報登録・伝達事業の取り組みについてどのように考えているか。

答（市側） 終活情報登録・伝達事業は、全国的にも取り組む自治体が増えており、関心の高さがうかがえる。本人が意思を伝えられなくなった場合でも意向をかなえられるように準備ができ、安心感につながることや、家族などの支援者や自治体にとっても必要な手続きがスムーズに進められるなどの効果が考えられる。本市においても実施に向けて前向きに検討していきたい。

その他の
一般質問

こども誰でも通園制度に関して／5歳児健診の早期導入に関して／クーリングシェルターに関して／軽度認知障害の早期発見に関して

みどりのサポーターが 続けられる検討を

輝(かがやき)
大伴 壘



問（議員） みどりのサポーター制度は、市民との協働施策事業として平成16年に発足した。市民などがボランティアとして公園や道路などの緑化や環境美化運動に参画することで、地域の快適な生活環境を進めるなどを目的としている。しかし、担い手不足だけでなく、近くに散水施設がないなど、自分ができる範囲の社会貢献として気軽に続けられる環境になっていない面も課題だと考える。気軽に続けられる環境について検討が必要と考えるがどうか。

答（市側） みどりのサポーターの活動が気軽に続けられる環境づくりとして、花苗の支給や道具の貸与、水道施設の設置などさまざまな支援策を行っている。散水施設のない道路での活動についても支援が可能となるよう、道路区域内への散水栓の設置についても検討していくとともに、シルバー人材センターによる散水業務との連携も図っていきたい。

その他の
一般質問

民生児童委員について

放課後児童クラブの 食事提供に向けた課題は

輝(かがやき)
富田 達也



問（議員） 放課後児童クラブの長期休業期間中の食事提供について、6月議会での答弁は、衛生面や親子のコミュニケーション、アレルギー対応などの視点から現在実施していないというものだった。中学校給食導入時も同様の課題がありながら導入にかじを切ったが、放課後児童クラブへの食事提供においては何がハードルとなっているのか。

答（市側） 長期休業中の放課後児童クラブでの昼食提供は、実施に向けた具体的な検討段階である。中学校給食導入時との相違としては、事業者における一時的な食数の増加や配送手段の確保が求められる。本市で導入する場合は、并当事業者との連携方式が最も現実的だと判断しており、具体的には并当の決済・注文システムサービス事業者と近隣の并当事業者が連携する仕組みを想定しており、并当事業者が確保できれば、試行実施も可能と考える。

その他の
一般質問

一般質問に対する理事者の姿勢／阪急長岡天神駅の高架化

西山キャンプ場の 今後の方針は

輝(かがやき)
干場 志都恵



問(議員) 西山キャンプ場は、小学校の授業などで利用されることもあり、児童たちはキャンプでの生活を通して自然の大切さを学んでいる。西山キャンプ場が設置された目的や、これまで果たしてきた役割について、市はどのように考えているのか。また、今後の方向性について、活用方針や判断基準はどのようなものか。

答(市側) 西山キャンプ場は、青少年が西山の自然に触れ、野外活動の楽しさを味わい、仲間との共同活動を楽しむ場の提供を目的とし、野外活動の場としての役割を果たしてきた。近年は、近隣におけるキャンプ場の充実等により利用者数の大幅な減少がみられる。また西代里山公園、西山公園などの公園整備に積極的に取り組むことで、自然と触れ合い楽しむ場の提供としての役割は公園でも十分に果たせると考え、今年度で運営を終了する判断を行った。

その他の
一般質問 包括支援事業

第二期教育振興基本計画 で平和教育の充実を

日本共産党
中村 歩



問(議員) 世界で平和の危機に直面する課題がある中で、過去に学び戦争を繰り返さないため、平和的に解決する方法を培い、具体的に行動できる力を育むことは、多様な他者と共生する力になると考える。現在各学校で平和教育を行っているが、本市として平和教育を長岡京市第二期教育振興基本計画に位置づける必要があると考えるがどうか。

答(市側) 各学校では学習指導要領に基づき、教科学習を含めた教育活動全体で平和に関する教育を行っているが、近年の世界情勢を踏まえ、教育委員会からも平和教育のさらなる充実を依頼し、取り組んでいただいているところである。令和8年度の中間改定に向けて見直しを進めている第二期教育振興基本計画では、平和教育のさらなる充実を図ることとしており、計画の中間見直しの中でその方向性をより明確に示す予定である。

その他の
一般質問 小中学校エアコン 早急に更新・整備を／学校給食無償化を／ジェンダーレス 水着の選択肢導入と学校更衣室の設置を／文化センター通り 今里舞塚～今里西ノ口の歩きやすい歩道改善

障がい者・児への排せつ 予測支援機器給付は

日本共産党
住田 初恵



問(議員) 排せつに課題を抱える人が、排尿のタイミングを捉えるための機器として、排せつ予測支援機器がある。介護保険の適用があり、障がい福祉の日常生活用具として全国には給付する自治体もある中で、本市では給付が認められていない。障がい者基本条例の実践例として、本市でも障がい者・児に排せつ予測支援機器を日常生活用具として給付する必要があると考えるがどうか。

答(市側) 障がい福祉における排せつ予測支援機器について、導入を否定するものではないが、導入事例が少なく、効果の検証が十分でないことから、現段階では見極める段階にないと考えている。技術の進歩により新たな機器が開発される中で、導入すべき用具については、効果の違いや対象とすべきか、適正な金額など、様々な観点から給付に向けた判断をすべきであり、今後も検証していきたい。

その他の
一般質問 水道管の漏水事故について／訪問介護事業所の経営支援とケアマネ確保について

介護家族への 支援について

日本共産党
小原 明大



問(議員) 介護者への直接的な支援について、本市にはかつて寝たきり老人等介護見舞金があったが、廃止され、おむつ券の支給に変わった。現金支給は介護の負担軽減、レスパイトや生活の安定にも役立つ支援だと考えるが、支援金の復活は行わないのか。また、介護者には、直接的支援があっても手続きが負担になると考える。市民目線で諸制度の運用や手続きの改善、簡素化が必要と考えるがどうか。

答(市側) 介護家族への財政的支援は、従来の支援金額を超える支援を実施している。一律の現金給付を復活させるよりも、サービス提供体制を整え、個々の状況に応じた支援などを総合的に講じることが重要と考えている。手続きの簡素化については、おむつ券の下半期申請を市公式LINEで行う予定としており、その他の制度についても、順次運用を含め可能な限り手続きの簡素化を行っていく。

その他の
一般質問 市民活動サポートセンターについて／産業文化会館について／都市緑化について